

Ⅱ 学校経営

令和7年度学校経営計画

那須烏山市立荒川小学校

1 校訓及び教育目標等

(1) 校 訓

かしこく なかよく たくましく

(2) 教育目標

- 自ら進んで学ぶ子ども（知）
- 思いやりのある子ども（徳）
- 健康で元気な子ども（体）

(3) 合い言葉・スローガン

● 希望の登校 満足の下校

2 学校経営方針

教育目標達成のために、全教職員の意思を結集した協働遂行力により、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することで、心身ともに健康で、相手を思いやる心をもった、意欲と実践力のある児童の育成を目指す。

- (1) 一人一人が人づくりに関わる教職の仕事を崇高な使命として深く自覚し、確かな指導力、学級経営力等の向上のために自己研鑽し、教職員の和を大切にし、信頼される教職員集団となるよう努める。
（教職員の資質・能力の向上）
- (2) 主任を中心とした協働体制を確立するとともに、チーム担任制を導入し、創意工夫に満ちた特色ある教育活動を推進する。
（特色ある学校づくり）
- (3) 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成に努め、児童が生き生きと活動する、楽しく活気のある学校・学級づくりに努める。
（生きる力の育成）
- (4) ICTを有効に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に努め、一人一人に質の高い学びを保障し、学習指導要領の目指す資質・能力の育成を図る。
（確かな学力の育成）
- (5) 特別の教科道徳を要に全教育活動を通した道徳教育と一人一人を大切にする人権教育を推進し、豊かな心を育む教育の充実を図る。
（心の教育の充実）
- (6) 児童の年齢や能力・特性を踏まえた教育の充実のために、関係諸機関等との連携を十分に図り、特別支援教育の充実に努める。
（特別支援教育の充実）
- (7) 社会に開かれた教育課程を編成し、授業参観や学校評価の公表、各種たよりの発行等を通して学校への理解を促進するとともに、学校、家庭、地域社会三者連携のもとで未来を担う子どもを育み、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進を図る。
（「地域とともにある学校」と「学校を核とした地域づくり」の一体化）
- (8) 児童、教職員にとって安全で快適な施設の管理と点検に努め、学校安全の徹底と「ヒヤリハット事例」の活用を図る。
（学校安全の徹底と施設・設備の活用）
- (9) 児童に対して効果的な教育活動を行うことができるよう、業務の明確化・適正化・効果的な指導・運営体制の構築・強化を図るとともに、職員の勤務時間の適正化を目指す。
（働き方改革の推進）